

岡谷市新病院建設基本設計業務中間報告

(1) 基本理念・基本方針 …岡谷市新病院建設基本構想（以下「基本構想」という。）から抜粋

岡谷市民病院では、平成22年7月に「思いやり」を大切にされた医療の実践を基本とする理念・基本方針を定めました。今後、新病院の建設、運営においてもこの考え方にに基づき実施してまいります。

①基本理念

岡谷市民病院は、「思いやり」を基本理念とし、心温まる患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院をめざします。

②基本方針

- 1 私たちは、患者さんの権利と尊厳、またご家族の意思を尊重する医療を実践し、安心と満足を提供します。
- 2 私たちは、患者さんにわかりやすいことばで説明し、同意を得たうえで適切な医療を提供します。
- 3 私たちは、医療倫理を守り真摯な態度で医療制度に即した医療を提供し、信頼される病院をめざします。
- 4 私たちは、研究・教育・研修により医療技術の研鑽に励み、高度で良質な医療を提供し、地域住民の健康を守ります。
- 5 私たちは、地域の医療機関と連携を図り、地域医療水準の向上に努めます。
- 6 私たちは、病院経営の健全化に努め、働きがいのある病院環境を築いていきます。

(2) 整備方針

整備に際しては、基本構想に掲げた4つの基本方針を踏まえ、より具体的な考え方として、以下のとおり整備方針を定め、この考え方を念頭に作業を進めます。

基本構想に掲げた整備の基本方針

- (1) 患者中心の建築計画
- (2) 機能的で働きやすい建築計画
- (3) 災害に強い建築計画
- (4) 経済性を考慮した建築計画

整備方針	具体的な取り組み事項
1. 岡谷市のまちづくりに貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ○安心感のシンボルとして市民の誇りとなる外観を持つ ○利用者がアクセスしやすい入り口や駐車場の整備に努める ○災害時の活用を考慮した駐車場や広場、災害備蓄庫の計画を行う ○災害医療の拠点としての機能を高めるため、免震構造を採用し、地震対策の強化を図る
2. 「救急」、「連携」、「安全・安心」を市民病院の「3本柱」とする	<ul style="list-style-type: none"> ○「救急」体制の強化につながる施設、設備を整備する ○「連携」の充実強化を図るため、地域医療連携、医療福祉相談、在宅支援の機能を集約した整備を行う ○災害・医療安全・院内感染防止に備え、「安全・安心」に考慮した施設の整備を行う
3. 特徴的な医療分野を持ち、市民や職員にとって誇りに思える病院をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ○「糖尿病センター」、「循環器センター」及び「呼吸器センター」に係る専門的な医療を維持するための施設整備を行う ○「がん医療」に係る支援病院として、内視鏡を中心とした消化器病治療機能の集約化を図る。また、在宅医療支援を強化するため、初期からの緩和ケアを行う「緩和ケア病棟」と「外来化学療法室」の整備を行う ○産科・小児科医療については、市内の医療機関の要として、機能集約と魅力的な環境を備えた診療施設の整備を行う
4. 高齢社会に向けて健康寿命を伸ばす医療を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ○回復期リハビリテーション病棟を含めたりハビリ施設の整備を行う ○健診センターは、予防医療の要としての健診事業を担うことから、施設、設備の一層の充実を計り、併せて健康教室や講演会などの「健康」事業の拡大を図る ○慢性疾患による長期療養を担うため、医療型療養病床の整備を行う
5. 将来の社会情勢や医療需要の変化に効率よく対応できる建物とする	<ul style="list-style-type: none"> ○患者の状況に応じて、柔軟な運営が出来る病棟を計画する ○将来の増築や、日常的な改変に柔軟に対応出来る構造・設備システムを採用する ○災害に対して安全で堅牢な構造仕様と設備システムを持つ ○省エネルギーと自然エネルギーの活用など、ライフサイクルコストの低減を目指した施設計画とする
6. 機能的で働きやすく、快適な建物とする	<ul style="list-style-type: none"> ○アメニティに配慮した診療、療養環境の整備を図る ○部門間の連携、患者動線とスタッフ動線に配慮した部門配置とする ○院内物流管理システムが有効に機能するよう、効率的な搬送システムを計画する ○情報システムの導入及び拡張が容易な構造、設備を計画する ○職員のモチベーションが維持出来る、快適な職場環境を整備する

(3) 敷地計画案

■基本的な考え

新病院の敷地は複数の道路に接していますが、新病院と駐車場、近隣住宅、工場などの交通安全の確保を優先に計画しました。

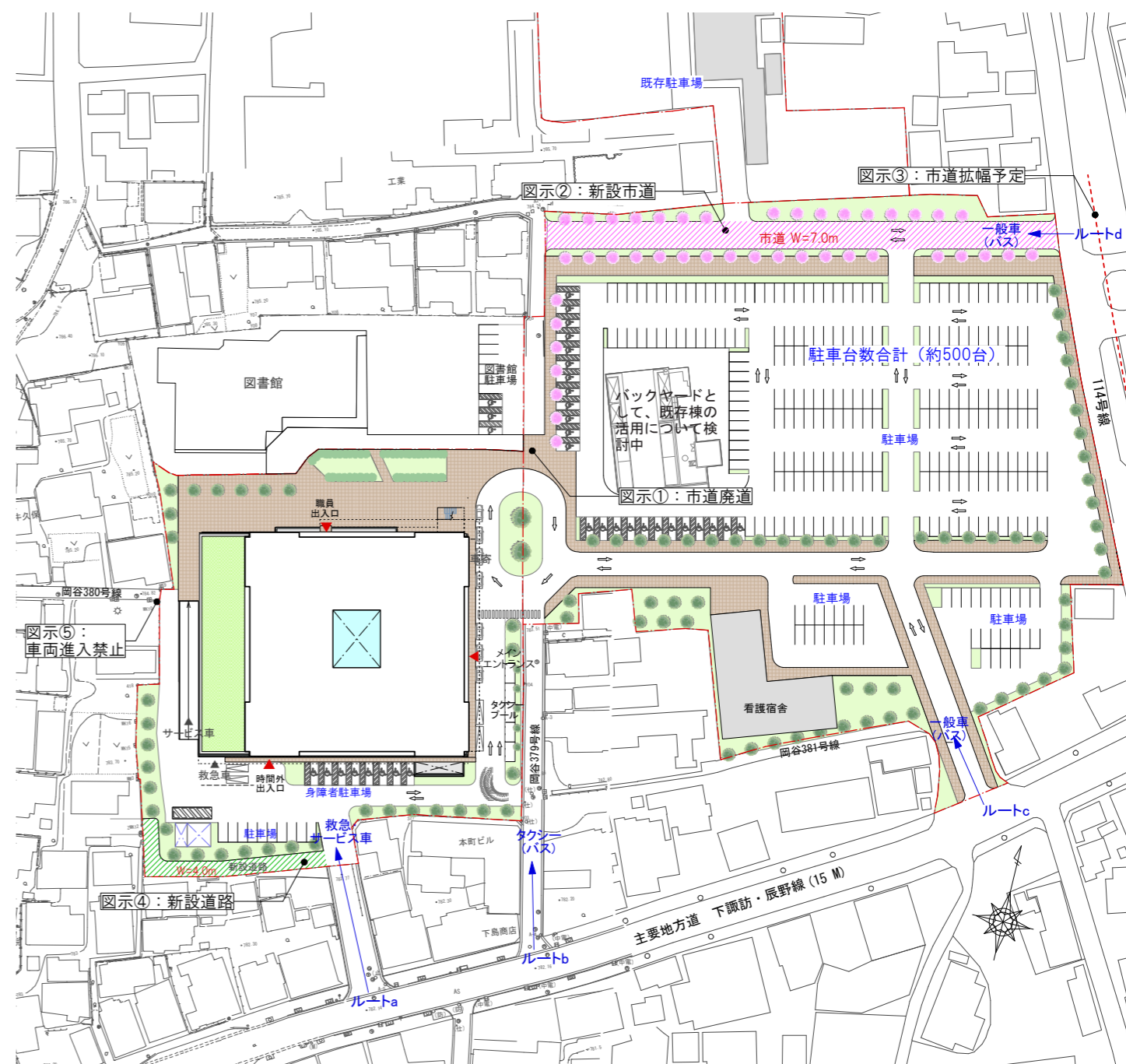
■道路計画

・新病院の駐車場は既存の病院敷地に配置しますが、駐車場から新病院までの歩行者動線の安全確保のために、敷地を分断している市道の一部廃道を計画しています。（図示①）廃道部分の機能は現北病棟の位置に新しい市道を開設することで回復し、図書館北側の住宅、工場はこの市道を利用します。（図示②）また、この新設道路と接続する市道114号線の拡幅を、新病院建設事業と併せて計画しています。（図示③）

（拡幅範囲：市役所～下諏訪辰野線交差点）

・新病院の南側にある道路は市有地を分断している形状であるため、一体的な利用を行うため、道路を南側に移設するよう計画しています（図示④）

・新病院西側の市道岡谷380号線（図示⑤）については、新病院の救急動線、サービス車両動線と重なるため、車両の通り抜けは危険であり、構内の安全確保のため車両の進入禁止を計画しています。



(4) 機能・規模

①診療科目（岡谷市新病院建設基本構想に掲げた現状の診療科＋新たな診療科1科）

内科、心療内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、感染症内科、疼痛緩和内科、内分泌・代謝内科、肝臓内科、人工透析内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、消化器外科、胸部外科、乳腺・内分泌外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科、麻酔科、

歯科（※入院患者向けに新規検討中）

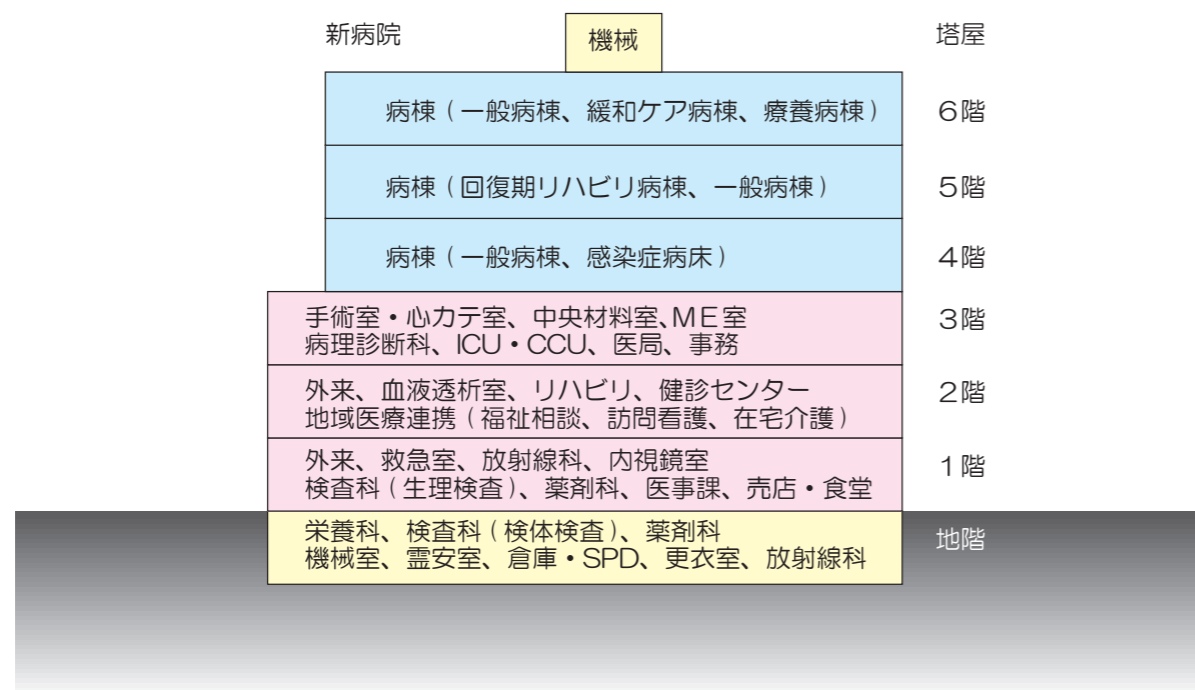
②病床種別・病床数

病床種別	病棟単位	病床数
一般病床 (感染症病床)	一般病棟 (感染症)	200床 (4床)
	回復期リハビリ病棟	45床
	緩和ケア病棟	17床
	I C U ・ C C U	8床
療養病床	療養病棟	25床
計		295床

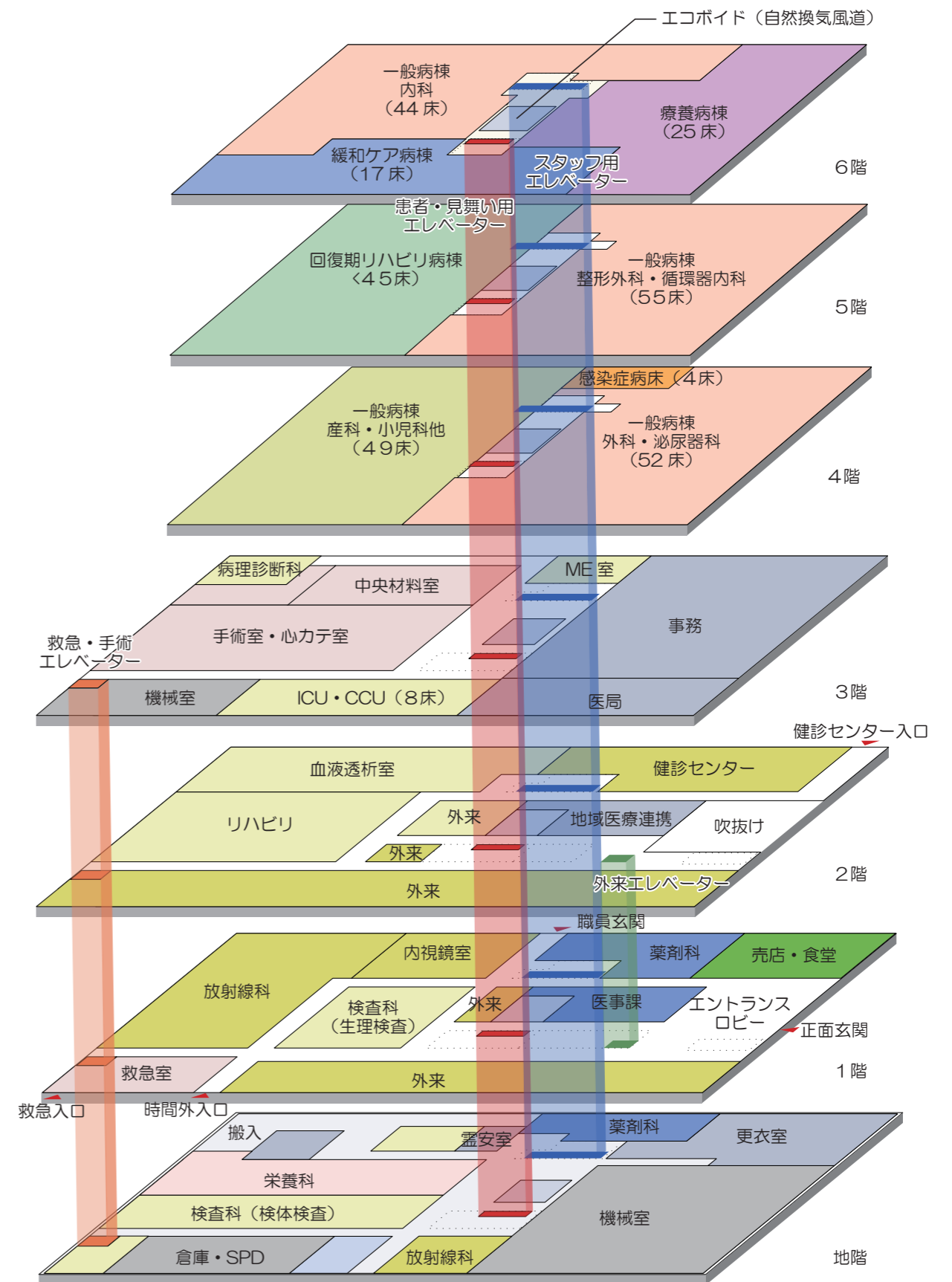
③断面イメージ（階層別構成）

ボーリングによる地盤調査の結果、地階を設けることが可能であると検証されました。

- ・支持地盤に直接基礎工事を行えるため、杭工事費を削減できます。
- ・地上の高さを抑えることで近隣への影響を軽減でき、1、2階を診療部門として有効に活用できます。



④各階ゾーニング案（平面計画）



用語集

総合病院	… 許可病床数 100 床以上で主要な診療科（最低でも内科、外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科の 5 科）を含む病院のことを意味し、従来は医療法で規定されていたが、1996 年の医療法の改正により廃止されている。 そのため、現在は色々な診療科が揃っている病院を意味する。
予防医療	… 病気になるのを未然に防ぐ（発症するのを防ぐ、発症しても早期に発見して治療する）という意味で、そのための健康診断や健康指導を予防医療としている。
急性期	… 主に病気のなり始め、つまり症状の比較的激しい時期を指し、一般的に処置・投薬・手術などを行うことにより、1 カ月程度で治癒する場合をいう。
慢性期	… 病気の急性期（症状の激しい時期）を過ぎて、症状が安定している時期をいう。
回復期	… 外傷や疾病によって、生命や身体機能を脅かされた患者が急性期（危機状態）から脱し、その他の合併症を予防しながら、社会復帰に向けての日常生活動作の自立を図っていく時期のことをいう。
情報システム	… オーダリングシステムや電子カルテシステム、医事会計システムなど、部門間で医療情報を共有、または処理するシステム。
物流システム	… 診療に供する材料や消耗品の受入と払出を管理するシステム。また運搬するシステムもこの中に含む。
中材	… 中央材料室の略で、注射器や処置器具の管理、滅菌を行う部署のこと。
ME	… Medical Engineer の頭文字をとって ME とする。臨床工学技士のこと。人口心肺装置やペースメーカー、透析装置の操作や管理を行う。
免震構造	… 建物の基礎部分に地震の震動を軽減させる装置をつけ、建物に揺れが伝わりにくくする構造をいう。（耐震構造⇒建物の構造（柱や梁）自体が地震に耐えるような強度に造られているもの。）
外来化学療法	… 注射（点滴）や内服によって体の中に薬（抗がん剤）を入れ、がんが増えるのを抑えたり、がんを破壊する療法で、外来（通院）で行うもの。
健康寿命	… 日常的に介護を必要とせず、自立した生活ができる生存期間のこと。
回復期リハビリテーション病棟	… 脳血管障害や大腿骨・頸部の骨折など、発症後 2 ヶ月以内の患者に対して、ADL（日常生活活動・・・食事・排泄・着脱衣など）の能力向上による、寝たきり防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションを受けることができる病棟。 医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療相談員などが共同でそれぞれの方にあつたプログラムを作成し、リハビリテーションを集中的に行う。
ライフサイクルコスト	… 製品や構造物などの費用を、調達、製造から使用、廃棄の段階をトータルして考えたもの。訳語として「生涯費用」ともよばれる。

サービス車	… 医療材料や食材・消耗品など物品の搬入やゴミ等の搬出のための車両、委託業者の作業車両など
ボーリング調査	… 掘削機などを用いて、地盤の強度・地質を調べるために実施する調査。
支持地盤	… 支持地盤（支持層）とは、”建物の重さに充分耐えられる地層”のこと。（土には、重いものに耐えられる硬い地盤と、軽いものにしか耐えられない軟らかな地盤がある。）
杭工事	… 地盤が軟弱な場合に、杭を打つことによって建物の荷重を地盤に支持させる基礎工事をいう。
バックヤード	… 医療材料などの搬出・搬入、在庫の保管、職員の着替えや休憩の場所などとして利用される裏側のスペース。患者が立ち入ることのない場所。
機械室（3 階、地階）	… 空調機器やボイラー機器、発電装置など、病院施設を稼働する上でエネルギー供給を行うための機械を備え付けるスペース。
S P D	… 病院内で流通する物品（医療材料、医薬品、文具・日用雑貨など）について、「買う」→「保管する」→「運ぶ」→「使う」のサイクルを一元的に管理する「物品・物流管理システム」のことをいう。
エコボイド（自然換気風道）	… 建物の中を貫いて設置する「吹抜け」のことで、主に自然採光や自然通風・換気のために利用され、省エネに効果がある。 また建物内での視認性を高め、解放感のある空間を実現できる。
病理診断（科）	… 手術等により人体から採取した臓器、組織、細胞などを、病気の診断や原因の究明を目的として、顕微鏡などを用いて詳しい診断を行うこと。
心カテ（室）	… 心臓カテーテル検査の略。 心カテ手術では、足の付け根、手首などの動脈から、細い管（カテーテル）を心臓の近くまで挿入し、狭くなったり、詰まったりした血管を、風船（バルーン）や金属の網状の筒（ステント）により拡張する。狭心症や心筋梗塞などの患者に用いられる。
感染症病床	… 感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）に基づく 1～5 類感染症の患者を入院させるための病床。 市立岡谷病院は 2 類感染症（ポリオ、鳥インフルエンザ、SARS）や新型インフルエンザ等の患者を収容する「第二種感染症指定医療機関」。
生理検査	… 心電図検査や脳波検査、肺機能検査など、患者に直接触れて行う検査
検体検査	… 人体から得られた被検査物について、成分分析や微生物の有無等の検査を行うことで、採血検査や採尿検査が代表的なもの